

令和6年度 共創・MaaSモデル実証プロジェクト（モビリティ人材育成事業）の 実績報告について

【事業概要】

名 称：木津川地域モビリティプロデューサー育成事業

事業主体：一般社団法人京都スマートシティ推進協議会

内 容：けいはんな学研都市である城山台では、平成27年度から運行している木津城山台線が、令和5年度に路線廃止の提案を受けており、今後の地域交通インフラの維持に向け、住民ワークショップ等により、人材育成と共に中長期的な新たなモビリティサービス導入等の検討を行うもの。

【実 績】

実施期間：令和6年7月～9月（講義5回、ワークショップ4回、フィールドワーク3回）

実施概要：

- ① 7月22日 第1回講義
- ② 7月30日 第2回講義、第1回ワークショップ
- ③ 8月20日～22日、30日 第1回フィールドワーク（住民ヒアリング）
- ④ 8月30日 第3回講義、第2回ワークショップ
- ⑤ 9月 5日 第4階講義、第3回ワークショップ
- ⑥ 9月11日 第5回講義、第4回ワークショップ
- ⑦ 9月17日 第2回フィールドワーク（交通事業者ヒアリング）
- ⑧ 9月17日 第3回フィールドワーク（住民ヒアリング）

（ワークショップ概要）

第1回 地域住民の暮らしのニーズ仮説検討

第2回 路線バス持続可能モデル検討 /新たな交通導入におけるハードル検討

第3回 シミュレーションを踏まえた地域の交通設計と事業者の収益性まとめ

第4回 地域交通の実現に向けたロードマップの検討

事業成果：9割の参加者が交通サービス実装における検討プロセスの理解を深め、地域のあるべき姿を支えるモビリティサービス案について、暮らしニーズの特定からロードマップの策定までの具体化に至った。その中で城山台地区における新たな交通サービス導入に向けた検討のインプットとして活用できる事業案を作成。今後の交通再編の方向性についての議論の土台として活用。